

海の安全レポート

第七管区海上保安本部
海の安全推進室
TEL093-331-6395(交通部安全対策課)

第176号 令和3年11月号



BACKNUMBER (二次元コードは右側をご利用ください。)

https://www.kaiho.mlit.go.jp/07kanku/gyoumu/kyunan/marine_anken_report/

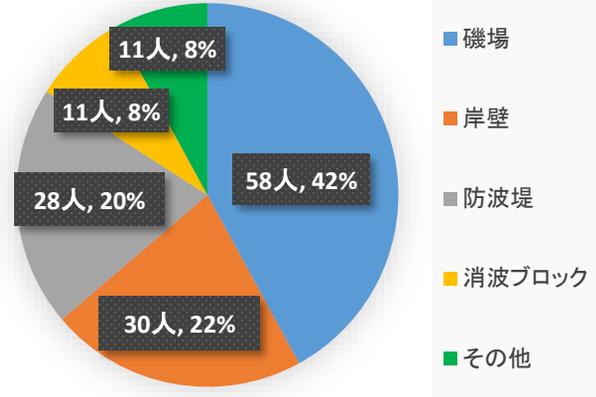
油断禁物！！磯場での釣りが事故最多！！

磯場における事故事例

事故者和他2名は釣り目的で磯場を移動していたところ、先頭を歩いていた事故者が急な高波にさらわれ海中転落する事故が発生しました。事故者はライフジャケットを着用していなかったためそのまま海中に引き込まれ、その後発見されたものの死亡が確認されました。

過去10年間で釣り中における海中転落等の事故者は360人であり、内138人が死亡しています。その内磯場が58人(42%)と最も多く、他の場所より2倍近く発生しています。また360人中123人はライフジャケットを着用、内約70%(86人)が救助され、ライフジャケット未着用者237人の内約55%(134人)が救助されていることから、ライフジャケットを着用していれば、救助生存率が約15%高くなっています。

過去10年釣り中の死亡事故(場所別)

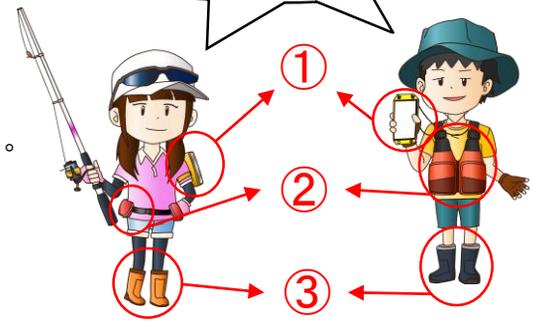


磯釣りの事故0を目指しましょう！！

必要な装備を整えましょう！！(装備の例)

- ①通信装備 (防水ケース入り携帯電話)
防水仕様の携帯でもいざ使用する時に沈んだら意味がないため、ストラップ付の防水ケース等に入れてください。
- ②ライフジャケット
車といえば「シートベルト」、海といえば「ライフジャケット」。自分の体格に合ったものを確実に着用しましょう。
- ③釣り場に合った履物 (磯場はスパイクソールが適切です)
釣り場は滑りやすく足場が悪いため、滑り止め効果が高く、かつ脱げにくい靴を履いたうえで釣り場に臨みましょう。

あなたの装備は大丈夫？



一発大波にご注意ください！！

波の高さは一定ではなく、確率的には100回に1回は1.5倍、1000回に1回は2倍の高さの「一発大波」と呼ばれる現象が発生します。海面からの高さが低い磯場で、海側に背を向ける行為は危険ですので、特に注意して行動してください。

気象・海象・潮汐を必ず確認！！

あらかじめ荒天が予想される日は計画を取り止めて釣りには行かないようにし、釣り中も最新の気象情報を入手しましょう。

画像は事故事例と関係ありません



【釣りのアクティビティに関する情報】

詳しくは、ウォーターセーフティガイド (釣り編) をご覧ください！

